

2026 謹賀新年



旧年中は格別のご高配を賜り誠にありがとうございました。
本年も、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

池田記念美術館職員一同



池田記念美術館

イケビふれあい通信

2026

新春号

No.122

常設展示

スポーツ文化展示室・小泉八雲文学資料室

◆児童生徒展とベストショット展

1月5日から開催の南魚沼市児童生徒美術展は今回で70回を迎えます。南魚沼市と湯沢町の子どもの作品を展示するほか、大人と子どもと一緒に楽しめるワークショップを企画しました。講師は地域おこし協力隊の山室菜由さんです。節分かざりを一緒に作って自宅に飾って楽しんでください。

魚沼ベストショット展も15回となり、記念に風景写真家の佐藤尚さんの講演会を開催します。佐藤さんはプロの写真家で、47都道府県を車で回り、田園や里山の風景を撮影しています。魚沼をテーマにした写真集『こころの故郷―魚沼の風景を撮る』も出版しています。講演会のテーマは「ここが好きだから通い続ける。―魚沼を撮る方法と視点―」です。佐藤さんが20年以上魚沼に通う魅力とは何か、趣味から一歩進めて、作品にオリジナリティを持たせるために重要な方法と視点をお話いただきます。ご参加をお待ちしています。
(広田かおり)

◆イベント盛りだくさん

旧年中はお世話になり、ありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、イケビ恒例となった真冬のクラフトマーケット雪見展&一箱古本市ですが、今年は11日(日)12日(月・祝)の2日間開催します。一箱古本市は一早く新年の開館5日(月)から18日(日)まで開催します。温か

い手仕事の作品や美味しいもの、個性豊かな古本を揃えて皆さまのお越しをお待ちしています。雪見展終了後は、ミュージアムショップの棚や平台を使用し、無人の委託販売コーナーを設け、小さなお店が登場します。「第70回記念 南魚沼市児童生徒美術展」の開催中にあわせ、入館無料になりますので、ぜひ、年明けもイケビに遊びに来てください！また、昨年の2月から再開した、池美フオークライブですが、新年1回目は1月25日(日)午後2時からの開催になります。毎月、大勢の方からご参加いただき、大盛況のフオークライブです。こちらも参加は無料ですので、お気軽にご参加いただければと思います。
(山口加奈子)

◆ワークショップ開催！

地域おこし協力隊に着任してから早くも半年以上が経ちました。新緑が美しい季節からあつという間に純白の雪景色です。美術館のエントランスから見られる八海山・駒ヶ岳の眺望はとても綺麗で、晴れの日に日向ぼっこをしながら眺めるのが最高です。池にいる鴨は警戒心が強いのか、近づくすとスッと離れていってしまいます。その後ろ姿を見送るたびワタワタと逃げる様子が可愛らしいような少し寂しい気持ちになりますが、いつか慣れてくれる日を気長に待ちたいと思います。

1月に開催の企画展「第70回記念 南魚沼市児童生徒美術展」の関連イベントとして、ものづくりワークショップを開催します。テーマは節分かざり。みな様の無情息災を願い、季節行事に親しんでいただけるよう、子どもも大人も楽しく作ることができる内容を企画準備していますので、ぜひお気軽にご参加くださいませ！

※ワークショップ詳細は「第70回記念 南魚沼市児童生徒美術展」チラシまたはホームページをご覧ください。
(山室菜由)

◆丙午の年に

令和8年の干支は丙午ひのえうまとのこと。前回は60年前だから、1966年です。この年は迷信に惑わされたのか、出生率が25%も減少したのだそうです。少子化が進行中の我が国ですが、今回はそんなことがないように願います。まだ小学生だった時代の記憶は遠のくばかりですが、高度成長期の真っ只中で、ビートルズが来日したのもこの年でした。

新たな年を迎え、今年の企画展をいくつか紹介します。裏面にも書きましたが、春になったら美術館を動物園にしようと考えています。キリン、ダチョウ、ゴリラ、シマウマ、カンガルー、マレイバクなど、ほぼ等身大の立体作品を展示します。

秋には、多摩美術大学の絵画学科を70年、90年代に卒業した作家45人による「壁を超えたか？」展を開催。作家にとって「壁」とは何だったのがテーマです。その後、高校生がキュレーションする美術展をやりま。2年前の「アート試食会」を凌ぐ展覧会にするべく、すでに10名近い高校生が探究活動を重ねているところ。

(高橋良一)



錯覚展の展示作品「錯覚富嶽三十六景 渦巻き波乗り」。波は渦巻きに見えますが、波を表す図形要素は円に沿って並んでいます。波は、いくつかの円を組み合わせで表現されています。

池田記念美術館 展覧会・イベント情報

■第70回記念 南魚沼市児童生徒美術展

◎1階企画展示室、多目的ホール ◎期間：1月5日（月）～1月20日（火）※最終日15時終了
南魚沼市及び湯沢町の児童生徒の作品約400点を展示。会期中は全館無料です。

【関連イベント】

■1月17日（土）・18日（日）ワークショップ「節分かざりをつくろう！」

13：30～（随時受付、所要時間1時間程度） 参加費：300円（材料費）

■雪見展&一箱古本市

◎エントランスホールほか

真冬のクラフトマーケット「雪見展」と「一箱古本市」を今年も開催します。対面販売の2日間
は毎年、2,000人以上の来館者で大賑わいです。

1月5日（月）～18日（日） 一箱古本市

1月11日（日）～12日（月・祝） 対面販売（たこ焼き・クレープ・カレー・おにぎりなどの
移動販売車、館内ではパン・焼き菓子などの食品コーナー、小物やアクセサリなどのクラ
フトコーナー、リラクゼーションコーナーなど、毎回50店舗以上が出店します）

1月13日（火）～4月4日（土） 委託販売（ミュージアムショップの平台や棚を使用し、ク
ラフト関係の店舗が出店します）

■第15回記念 魚沼ベストショット展

◎1階企画展示室、2階展示室 | ◎期間：1月24日（土）～3月8日（日）※最終日15時終了
県内外の出展者が美しい風景の宝庫である魚沼に魅せられて撮影した自慢のベストショット
を発表。県展や市展などの入選者も多く、年々レベルアップ。今年は15回記念展となります。

【関連イベント】

■1月24日（土）14：00～15：00 ■2月7日（土）13：30～14：30 作品解説会

■2月7日（土）

15：00～16：00 記念講演「ここが好きだから通い続ける。一魚沼を撮る“方法と視点”」

講師：佐藤 尚（風景写真家） 参加費：入館料が必要（高校生以下無料）

■【冬季特別展示】第9回 錯覚展2026 — 杉原教授の不思議な世界 —

◎1階多目的ホール ◎期間：1月24日（土）～4月4日（土）※最終日15時終了

東大名誉教授、明治大学研究特別教授で、世界中の研究者が覇を競うベスト錯覚コンテスト
で何度も優勝実績を持つ、錯視研究の第一人者、杉原厚吉先生が制作した作品を約70点展示
します。イケビの名物展覧会です。3月9日（月）～13日（金）は展示替え休館となります。

【関連イベント】

■1月24日（土）

10：00～15：00（随時受付） ワークショップ「紙と折り紙で錯覚作品を作ろう」

講師：杉原厚吉先生 参加費：入館料が必要（高校生以下無料）

■3月8日（日） 予定

9：00～15：00 「雪の錯覚すべり台」大公開！ 一日限り！

会場：八海山麓スキー場（南魚沼市荒金）

八海山麓スキー場の冬季イベント「ホワイトカーニバル」に協賛して、今年も巨大な「雪の
錯覚すべり台」をお披露目します。杉原教授、地元ボランティアのみなさんの協力で作
作。高さ9mほどの見晴台から見下ろすと、なんと、ソリが斜面をのぼっていくように見える驚き
のすべり台です。えっ、そんなことあり？（助成：内田エネルギー科学振興財団）

■問合せ先：八海山麓スキー場 電話：025-779-3103

【冬季開館時間の変更】

9：30～17：00

期間：3月31日まで

（4月2日から9：00開館）

1月5日～1月20日

イケビは全館無料！

【1月、2月、3月の休館日】

【1月】 1月1日～4日、7日、
14日、21日～23日、28日

【2月】 2月4日、12日、18日、
25日 ※2月11日（水・祝）開館

【3月】 3月4日、9日～13日、
18日、25日

3月14日（土）～4月4日（土）

池田記念美術館収蔵品展

【4月の美術展】

島田忠幸 八色の森の動物園
プリニウスの動物たち

4月11日（土）～5月31日（日）

プリニウスとは古代ローマ時代の
軍人にして博物学者。当時の百科
事典ともいえる『博物誌』の著者
として知られ、西暦79年のヴェス
ヴィオ火山の大噴火で殉職した人
物。1970年代に砂を素材にした
彫刻作品で美術界を驚かせた島田
忠幸は90年以降、主にアルミニウ
ムを用いた作品を発表。生き抜く
ために多様に変化した動物の形と
生き様に圧倒され、2015年頃か
ら「プリニウスの動物」シリーズ
を制作しています。今回の企画展
では、室内の展示室だけではなく、
八色の森公園内での野外展示も計
画。作品の予定数は63点！ 八色
の森を舞台に、動物たちの躍動す
る生命力を展示・紹介します。

島田忠幸（しまだ・ただゆき）

1946年東京都生まれ

現在、茨城県取手市で制作活動



公式 LINE



公式 note

池田記念美術館 南魚沼市浦佐5493-3（八色の森公園内）
TEL 025-780-4080 / FAX 025-777-3815
【冬季開館時間】9：30～17：00（入館受付は16：30まで）
【休館日】水曜日（祝日の場合は翌日）
【入館料】一般500円（各種割引あり、高校生以下無料）

アクセス
上越新幹線JR浦佐駅東口より約1km、徒歩15分
関越自動車道大和スマートICより車3分
六日町ICより車15分、魚沼ICより車10分
【ホームページ】<http://www.ikedart.jp>

